

第2回 横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和4年8月4日(木) 10:00~15:50
場 所	保土ヶ谷区役所本館4階 401会議室
出席者	【選定委員】荒川委員(オンライン参加※)、小石川委員、左近委員、志村委員(オンライン参加※)、鈴木委員、高橋委員、羽根委員、濱走委員、樋口委員 ※集合・オンライン会議形式を併用
欠席者	あり
開催形態	公開(傍聴者:0名)※議題1以降非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議
決定事項	1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。 2 指定候補者及び次点候補者を決定した。 指定候補者:社会福祉法人なでしこ会 次点候補者:社会福祉法人秀峰会 3 議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定委員10人中9人出席につき、横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により、委員会が成立していることを報告。</li> </ul> <p><b>2 審査に係る確認</b></p> <p>(1) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配付資料について確認。</li> </ul> <p>(2) 会議の公開・非公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴人はなし。</li> <li>・会議の公開・非公開について、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認。</li> </ul> <p>(3) 応募資格等の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募のあった4団体が当公募の欠格事項に該当しないことを報告。</li> </ul> <p>(4) 選定方法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採点方法、最低制限基準点及び選定方法の説明。</li> </ul> <p>(5) 財務状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析結果報告書の内容を説明。</li> </ul> <p><b>3 応募団体の面接審査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各応募団体が、応募書類の内容に関するプレゼンテーションを実施し、その後、質疑応答を行った。</li> <li>・各団体の面接審査終了後、意見交換を行った。</li> </ul> <p>[質疑応答]</p> <p>(1) 社会福祉法人秀峰会</p>

- ・委員：地区社会福祉協議会で取り組んでいるまごころホルダー事業について引き継げるか。
- ・団体：まごころホルダー事業について承継する。法人としても興味深く、重要な取組と考える。
- ・委員：Wi-Fi スポットの設置について、どのように考えているか。
- ・団体：ケアプラザを多世代の方が利用するためには必要。IT による情報提供などにも活用できる。また、高齢者への周知方法も検討していく必要がある。
- ・委員：羅針盤とはどのようなものか。
- ・団体：業務を行う上での基礎、心構え。毎朝、全職員が読み上げている。
- ・委員：デイサービスのないケアプラザだが、ケアプラザの機能の周知や、利用してもらうためにどのような資料作成や広報を行う予定か。
- ・団体：IT の活用や、紹介チラシ・広報誌の発行（回覧板や掲示板、商店街にも協力いただき店舗への配付なども相談したい）を予定している。とにかくケアプラザを知ってもらうことに力を入れていきたい。
- ・委員：二重、三重のチェックや不祥事防止についてどのように考えているか。
- ・団体：個人情報の取扱いについては、研修開催・マニュアルの徹底、不要な個人情報の持ち出しをしない、持ち出す場合は持ち出し簿の記入をし、必ず事務所に戻るといった対策をしている。FAX に関しては二人体制でのチェックで対応するなど徹底している。
- ・委員：保土ヶ谷地域ケアプラザの予定地は駅前で集客が見込めるが、当該地域ケアプラザの圏域には駅前のような平坦な場所もあれば、丘陵部もある。立地の活かし方や、ケアプラザに来られない人へのフォローはどのように考えているか。
- ・団体：複合施設の2階ということもあり分かりにくさがあるため、積極的に周知し地域の方にアプローチする。ケアプラザに来られない人にはアウトリーチを充実させ、自治会館も活用させていただきたい。

(2) 社会福祉法人横浜社会福祉協会

- ・委員：地区社会福祉協議会で取り組んでいるまごころホルダー事業について引き継げるか。
- ・団体：まごころホルダー事業について承継する。他区でも見守りキーホルダーという事業を実施している。
- ・委員：Wi-Fi スポットの設置について、どのように考えているか。
- ・団体：他区で運営している施設では、希望する団体に端末を貸し出すなど活用している。保土ヶ谷地域ケアプラザでも活用する予定。運用にも注意を向ける。
- ・委員：デイサービスのないケアプラザだが、ケアプラザの機能の周知や、利用してもらうためにどのような資料作成や広報を行う予定か。
- ・団体：近年デイサービスは民間事業者が増えてきたため、ケアプラザは他の機能に重きを置いて利用促進をしていく。ケアプラザは公平・中立な施設のため、

	<p>利用者のニーズに合わせて情報提供を行う予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：保土ヶ谷地域ケアプラザの予定地は駅前で見込めるが、当該地域ケアプラザの圏域には駅前のような平坦な場所もあれば、丘陵部もある。立地の活かし方や、ケアプラザに来られない人へのフォローはどのように考えているか。</li> <li>・団体：アウトリーチを充実させ地域に出向いていく。集客の企画に関しては、複合施設と連携したり、地域の行事・祭事等で事業を企画するなど考えている。</li> <li>・委員：指定管理料の収支差額についてどのように考えているか。</li> <li>・団体：職員の退職等で急遽発生する支出に対して一定の留保が必要と考えている。</li> <li>・委員：人材育成についてどのように考えているか。</li> <li>・団体：研修が大切だと考えていて、オンライン講座では足りないため、法人としてYouTubeの限定公開アカウントを立ち上げ、職員がいつでも閲覧し勉強できるようにする予定。また、ジェンダーについて、福祉分野では理解が必須。法人全体で取り組んでいる。</li> </ul> <p>(3) 社会福祉法人奉優会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：地区社会福祉協議会で取り組んでいるまごころホルダー事業について引き継げるか。</li> <li>・団体：まごころホルダー事業について承継する。他の地域にも広げていけたらと考えている。</li> <li>・委員：Wi-Fiスポットの設置について、どのように考えているか。</li> <li>・団体：Wi-Fiスポットに関しては、全てのケアプラザで設置されることになった。一方で環境が整っても高齢者にとっては活用が難しい。コロナ禍では、Wi-Fi環境を使ってケアプラザをサテライト会場として使用し事業を行う。</li> <li>・委員：デイサービスのないケアプラザだが、ケアプラザの機能の周知や、利用してもらうためにどのような資料作成や広報を行う予定か。</li> <li>・団体：広報誌を発行し、自治会・町内会に周知し、若い世代向けにはSNSを活用する。当法人はLINE公式アカウントも保有している。</li> <li>・委員：保土ヶ谷地域ケアプラザの予定地は駅前で見込めるが、当該地域ケアプラザの圏域には駅前のような平坦な場所もあれば、丘陵部もある。立地の活かし方や、ケアプラザに来られない人へのフォローはどのように考えているか。</li> <li>・団体：ケアプラザに来られない人には、出張相談会やミニ健康チェック等の事業を行いたいと考えている。駅前の強みについては鉄道沿いの駅に広報誌を配架するなどケアプラザの周知・認知度向上を検討している。</li> <li>・委員：指定管理料の収支差額についてどのように考えているか。</li> <li>・団体：社会福祉法人は地域福祉への貢献を目的としている。利益としては、介護保険事業で収益を得ている。</li> <li>・委員：歩いて来られない方、情報が届いていない方への取組は何かあるか。</li> </ul>
--	--

- ・団体：サテライト的に出前講座をするなどしてアウトリーチを充実させていきたいと考えている。
- ・委員：消耗品等を大量購入するメリットは何か。
- ・団体：SDGs という観点と、一括大量購入することでコストを抑え、また、職員にコスト意識を自覚してもらうために行っている。

(4) 社会福祉法人なでしこ会

- ・委員：地区社会福祉協議会で取り組んでいるまごころホルダー事業について引き継げるか。
- ・団体：まごころホルダー事業について承継する。
- ・委員：Wi-Fi スポットの設置について、どのように考えているか。
- ・団体：基本的に Wi-Fi スポットは設置される予定。
- ・委員：デイサービスのないケアプラザだが、ケアプラザの機能の周知や、利用してもらうためにどのような資料作成や広報を行う予定か。
- ・団体：他のケアプラザで行っている広報と同様の方法を検討している。また、複合施設のため他施設との連携も考えている。
- ・委員：保土ヶ谷地域ケアプラザの予定地は駅前で集客が見込めるが、当該地域ケアプラザの圏域には駅前のような平坦な場所もあれば、丘陵部もある。立地の活かし方や、ケアプラザに来られない人へのフォローはどのように考えているか。
- ・団体：保土ヶ谷区内だと、岩崎地域ケアプラザは山の上で星川地域ケアプラザは駅前。保土ヶ谷地域ケアプラザも駅前など立地特性が異なるので地域の声を聞いて事業を検討する。また、ケアプラザを知ってもらう機会になるため、駅の有効活用も考えている。
- ・委員：収支についてどのように考えているか。
- ・団体：居宅介護支援事業については、人員体制を段階的に増やしていく予定のため収支が変動している。
- ・委員：災害対策についてどのように考えているか。
- ・団体：地域の方と一緒に防災訓練を行っていく。

**[意見交換]**

(1) 社会福祉法人秀峰会

- ・アセスメントができていて、小中学校や商店街等の社会資源との連携や、2階という立地の中でいかに来所してもらうかといった工夫が具体的で期待感を持てる。
- ・市内で7か所のケアプラザを運営しているためスケールメリットを感じる。
- ・法人規模が大きいため、オープンな経営や、利用者へのきめ細やかな対応を求める。
- ・理事長がケアプラザでの事業展開や内容についてよく把握しており、安心感がある。

(2) 社会福祉法人横浜社会福祉協会

- ・人材育成や IT 活用に力を入れていて、次世代を見据えた運営を行っている点が優れている。
- ・理事長も質疑に対して回答できている点が、安心感がある。

(3) 社会福祉法人奉優会

- ・地域の情報をよく把握している。
- ・人材育成に力を入れている点が優れている。

(4) 社会福祉法人なでしこ会

- ・保土ヶ谷区内で様々な事業を行っているため身近でイメージしやすく安心感がある。
- ・ケアプラザの周知や活用が優れており、複合施設間の連携や広報に期待が持てる。

**4 指定候補者の選定審議**

- ・各団体の得点を報告。

応募団体	評価得点
社会福祉法人秀峰会	1,974 点
社会福祉法人横浜社会福祉協会	1,858 点
社会福祉法人奉優会	1,845 点
社会福祉法人なでしこ会	1,990 点

※満 点 : 2,565 点

※最低制限基準 : 1,539 点

- ・各団体の得点が、最低制限基準である評価基準項目の配点合計の 60%以上であったことを報告。
- ・指定候補者及び次点候補者を審議・選定。  
指定候補者：社会福祉法人なでしこ会  
次点候補者：社会福祉法人秀峰会

資 料

- (1) 資料 1 タイムスケジュール
- (2) 資料 2 選定委員名簿
- (3) 資料 3 採点シート (4 団体分)
- (4) 資料 4 財務分析結果報告書 (4 団体分)